

10月1日から
条例施行

エスカレーターでは 立ち止まろう!!

多くの駅や商業施設などに設置されているエスカレーターは、便利な反面、利用方法によっては危険な事故につながる恐れがあります。

子供や高齢者、身体の不自由な方など、さまざまな方が利用するエスカレーター。事故防止のため、**安全に利用**しましょう。

立ち止まって利用しましょう

急いでいる人のために片側を空ける習慣がありますが、エスカレーター上を歩行したり、走ったりすると大変危険。他の利用者との接触や体のバランスを崩して転倒・転落の原因になります。



▲エスカレーターの安全利用の詳細はこちら

★エスカレーターの安全基準は、ステップ上に立ち止まって利用することを前提にしています。

問 県消費生活課 TEL 048-830-2935 FAX 048-830-4750

10月1日から「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が施行

- **利用者の義務(第5条)**
立ち止まった状態でエスカレーターを利用しなければならない。
 - **管理者の義務(第6条)**
利用者に対し、立ち止まった状態でエスカレーターを利用すべきことを周知しなければならない。
- ★いずれも罰則規定はありません。



エスカレーターは緊急停止することもあります。安全のために手すりにもつかまりましょう。

10月は里親月間です

知ることから「里親制度」始めよう

さまざまな事情によって家庭で生活できない子供たちがいます。一方で熱意と豊かな愛情を持って、家族の一員として子供を育てる里親がいます。里親に「関心がある」「考えてみたい」人へ。まずは「里親制度」を知ることから始めてみませんか。

主な里親の種類

養育里親

要保護児童※を養育する里親
※さまざまな事情によって家庭で生活できない子供

養子縁組里親

将来的に養子縁組によって法的な親子関係を結ぶことを前提として養育する里親

里親になるためには要件があります

- 要保護児童の養育についての理解および熱意、ならびに豊かな愛情を有していること
- 経済的に困窮していないこと
- 県が行う所定の研修を修了していること
- 本人やその同居人が児童福祉法の欠格事由に該当しないこと

里親さんの声

毎日たくさんの「プレゼント」を子供たちからもらっているような気持ちです。私たち夫婦だけでなく、お世話になっている人々みんなを笑顔にしてくれる子供たち。彼らの「生きる力」に感動する日々です。

Yさん 里父:47歳 会社員 里母:48歳 助産師

「子供の膝に貼られた絆創膏がなぜ貼られたか…。次の日『昨日は痛かったね』と言って、寄り添うだけで十分」そんな見担当者のアドバイスで肩の力を抜いて今も里親を続けています。

Hさん 里父:64歳 自営業 里母:61歳 団体役員

動画で分かる里親制度

オンライン入門講座 WEB

里親の体験談の他、里親制度の説明や里親登録までの流れを学べます。知りたいことを何度でも見返せるので、理解を深めることができます。

埼玉県 里親入門講座 検索

里親に関心を持ったら、お住まいの地区を所管する児童相談所 WEB へ

問 県子ども安全課
TEL 048-830-3339
FAX 048-830-4787



▲詳細はこちら

県の令和2年度決算 の状況をお知らせします

財政状況 一般会計決算

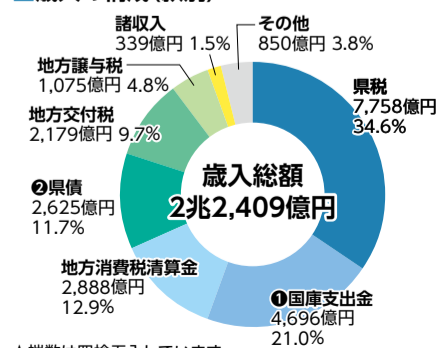
令和2年度の一般会計*決算は、歳入・歳出総額ともに県政史上最大規模でした。実質収支は約271億5千万円の黒字です。

*県を中心とする会計、行政運営の基本的な経費全般

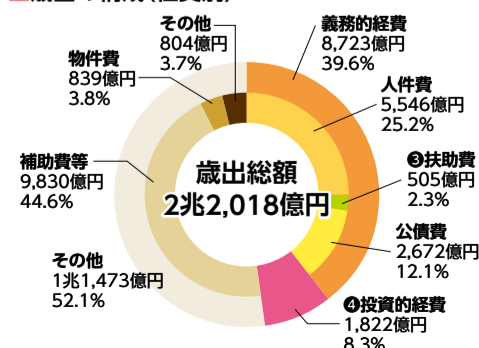
用語解説

- ① 国庫支出金 特定の事業に使い道を定めて国から交付される補助金などの総称
- ② 県債 原則として道路や学校などの公共施設の整備に充てる県の長期借入金
- ③ 扶助費 生活保護費など生活困窮者への支援や、児童・障害者などへの支援に要する経費
- ④ 投資的経費 公共施設や道路整備など投資効果が長期にわたって持続する経費

歳入の構成(款別)



歳出の構成(性質別)



★端数は四捨五入しています。

問 県会計管理課 TEL 048-830-5735 FAX 048-830-4913 WEB

令和2年度は「安心・安全しっかり確保」「持続可能な成長・発展」「誰もがいきいき活躍」を柱に、各施策・事業に取り組みました。加えて、新型コロナウイルス感染症対策を実施しました。

健全化判断比率など ▶ 健全です

地方公共団体の財政状況を確認するための指標として、財政の「健全化判断比率」という四つの指標と公営企業会計の「資金不足比率」があります。

令和2年度決算に基づき算定された健全化判断比率は、すべての指標において県の財政状況が健全であることを示しています。また、すべての公営企業会計で資金不足はありません。

今後もより効率的な財政運営に努め、県政の主要課題に取り組んでいきます。

指標	解説	結果
実質赤字比率	一般会計等が赤字となった場合、その大きさを県の財政規模に対する割合で表したものの	- (黒字)
連結実質赤字比率	県立病院や下水道など公営企業も含めた県全体が赤字となった場合、その大きさを財政規模に対する割合で表したものの	- (黒字)
実質公債費比率	一般会計等の公債費や公営企業会計への繰入金などによる財政負担の程度を示すもの。25%以上だと健全化の取り組みが必要	10.9%
将来負担比率	県債残高や第三セクターなどへの県の負担見込みなどによる県の将来負担の程度を示すもの。400%以上だと健全化の取り組みが必要	181.1%
資金不足比率	県立病院や下水道など公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模と比較して指標化したもの	- 不足なし

問 県財政課 TEL 048-830-2166 FAX 048-830-4713 WEB